

シラス台地における河川水質の形成機構

Chemistry of river water in Shirasu ignimbrite plateau

穴澤 活郎 [1]; 富安 卓滋 [1]; 坂元 隼雄 [1]

Katsuro Anazawa[1]; Takashi Tomiyasu[1]; Hayao Sakamoto[1]

[1] 鹿児島大・理・地球環境

[1] Fac. Sci., Kagoshima Univ

南九州のシラス台地を流れる河川水および周辺地域の温泉水や雨水試料の化学成分を定量し、溶存主要成分の挙動を多変量解析法により解析した。その結果、河川水の溶存主要成分は、調査地域周辺に数多く見られる温泉や住宅地の排水の影響をほとんど受けず、主として火砕流堆積物から構成される周辺地質によって決定づけられることが判明した。また当該河川水の主要成分含有量は、シラス台地を構成する主要鉱物の風化反応式から導出された理論的な関係式によく適合した。